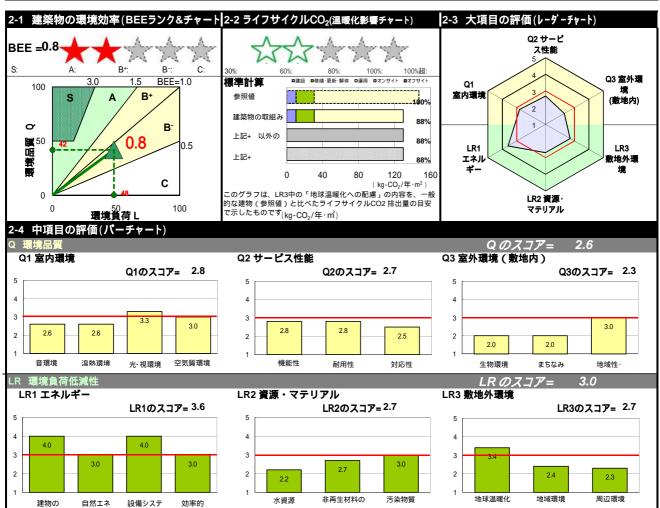
この解傷ソフトは、改正省エネ基準の経過措置が終わる2015年3月までの期間限定で使用できます。 「大きないる」 「大きないる」 「中国評価マニュアル」に CASBEE 新漢(角系版)

▮評価結果▮

			CASBEE-新報(同物版)2010年週間版》	Ver.2(BPI/DEIXID) 使用計画ファト、CASBEE-NCb_2010bpi&bei(V.2.11)
1-1 建物概要				1-2 外観
建物名称	(仮称)秦野様貸施設 新築工事	階数	地上3F	
建設地	藤沢市高倉字諏訪下2117番-1,2118番	構造	S造	The second second
用途地域	第1種低層住居専用地域、準住居地域、準防火地域	平均居住人員	56 人	
気候区分		年間使用時間	8,760 時間/年	A 57-9
建物用途	病院,	評価の段階	実施設計段階評価	MEDERAL
竣工年	2015年2月 竣工	評価の実施日	2014年12月16日	M M M M M H H H I S S S S S S S S S S S S S S S S
敷地面積	1,529 m²	作成者	大和ハウス工業株式会社	134 - 1 11 1100
建築面積	787 m²	確認日	2014年12月16日	Nounament and a second
延床面積	2,257 m²	確認者	大和ハウス工業株式会社	The second secon



100					
3 設計上の配慮事項					
総合	その他				
計画地周辺の良好な自然環境を活かし、森をコンセプト	0				
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)			
南西面に長く建物を配置し、開口部を多く設けることで	外装はメンテナンスが少なくて済むよう、防汚性の高い材料を	敷地面積の15%以上の緑化を行い、特に景観の良い西側			
自然採光を積極的に取り入れる計画とした。	使用している。内部の床材については、モップで清掃がし	に低木・中木・高木をバランス良く配置した。			
	やすいように抗菌の長尺塩ピシートを採用した。メインの風除				
	室にはコンセプトに沿った、木製のデザインパネルを採用した。	· 등 등 하나가 사 역할 (중			
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境			
自然通風を取り入れられるように、開放できる引違窓を	発泡剤を用いた断熱材等を採用していない。	雨水の流出抑制施設を設置し、雨水排水負荷の低減に寄			
多く採用した。		与している。騒音の出る空調室外機やダクトの音を騒音			
		規制値内に納まるように計画した。			

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)「ライフサイクルCO2」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと 評価対象のライフサイクルCO2排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される